

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

練馬区内の新宿線には、十三箇所踏切が存在し、交通渋滞の発生や踏切事故の危険性、地域の分断など区民の生活に支障を及ぼしています。地域の課題を解決するためには、西武新宿線の立体交差化が必要です。平成二十七年一月に、区民、区議会、区が一体となって西武新宿線立体化促進協議会を結成し、東京都に対して、鉄道立体化の早期実現を求める二度の要請活動を行いました。

そうした中、東京都においては、平成二十八年三月に井荻駅から東伏見駅付近を、連続立体交差事業について新規に着工を準備する区間に位置付け、事業化に向けて積極的に取り組んでいただいています。

上井草駅、上石神井駅、武蔵関駅周辺地区においては、区と地域住民が協力して、鉄道立体化にあわせた沿線のまちづくりの具体的な検討を進めており、鉄道と交差する外環の2や上石神井駅前広場の整備については、いよいよ事業化が目前まで来ています。本年一月に開催した西武新宿線立体化促進大会において、多数の地域住民に参加いただき、連続立体交差事業の早期事業化を東京都へ求めていくことを決議しました。鉄道立体化に寄せる期待は、ますます大きくなっています。

誰もが安全で快適に生活できる未来に誇れるまちを築くためには、西武新宿線の立体化や外環の2などの南北道路の整備が不可欠です。

是非とも本要望趣旨にご理解をいただき、地元の長年の悲願である鉄道の立体化と外環の2の整備について、早急に事業化への取組を進めていただきますよう、左記の事項を要望いたします。

## 記

- 一 西武新宿線（井荻駅～東伏見駅付近）連続立体交差化の早期事業化に向けて、積極的に取組を進めること。
- 一 外環の2については、区内全ての区間の早期整備に取り組むこと。とりわけ、上石神井駅付近の事業認可を速やかに取得すること。
- 一 上井草駅、上石神井駅、武蔵関駅周辺地区において取り組んでいるまちづくりを早期に実現できるよう支援や協力を行うこと。

平成三十年三月二十八日

西武新宿線立体化促進協議会

会長（練馬区長） 前川 耀男

東京都知事

小池 百合子 様